

平成 28 年度 第 1 回浦安市文化財審議会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成 28 年 5 月 18 日（水） 午前 10 時～12 時

2 開催場所 郷土博物館 視聴覚室

3 出席者

（委員） 平野委員長、丸山（光）委員、丸山（純）委員、大塚委員
※杉山委員、菊池委員、吉田委員は欠席

（事務局） 細田教育長、石田生涯学習部長、永井生涯学習部参事、佐久間館長、池田、島村、林、井口、尾上（記）

（傍聴人） なし

4 議 事

(1) 平成 27 年度 浦安市文化財審議会の報告について

(2) 平成 28 年度 浦安市文化財審議会の年間計画について

(3) 平成 27 年度 郷土博物館・文化財住宅の利用状況報告について

(4) 平成 28 年度 郷土博物館の年間計画について

5 会議経過

会議に先立ち、人事異動に伴う職員紹介（佐久間館長）を行った。開会后、平野委員長、細田教育長があいさつを行った。

(1) 平成 27 年度 浦安市文化財審議会の報告について

配布資料に基づき、事務局より説明した。

主な質疑・応答については、下記のとおり。

（委員） 旧醍醐家茶室が文化財に指定されたが、移築の全体スケジュールを教えてください。

（事務局） 現在、新庁舎周辺の浦安公園の整備計画が進んでおり、今の第三庁舎付近に街区公園をつくり、そこに日本庭園を整備し、移築することで調整中。今年度に設計を行い、来年の 4 月以降、公園の整備に合わせて移築予定。9 月頃に着工して、平成 30 年 4 月から利用ができるよう考えている。

（委員） 工期が冬にかかるということがあるのか。昔から「土いじりは、冬、避けなさい」とされている。できれば冬にかからないように、配慮願えないか。

（事務局） 今後、専門的な方々に意見をいただいて、調整していきたい。

(2) 平成 28 年度 浦安市文化財審議会の年間計画について

配布資料に基づき、事務局より説明した。

主な質疑・応答については、下記のとおり。

（委員） 第 3 回目、11 月 16 日（水）の計画として、茶室庭園の視察として、杉並

区郷土博物館と出ているが、茶室はどこにあるのか。

(事務局) 杉並区郷土博物館はリニューアル関係の視察案として出している。あくまで案で、後日調整する。茶室関係では、根津美術館には4棟茶室が移築されているので、候補の一つに考えている。

(委員長) 着工前にいろいろみておくことは、いいことだと思う。

(3) 平成27年度 郷土博物館・文化財住宅の利用状況報告について

配布資料をもとに、事務局より説明した。

主な質疑・応答については、下記のとおり。

(委員) 企画展の入場者数が出ているが、これは企画展示室に入った人数か。

(事務局) 企画展示室の入口にカウンターがあり、その数である。

(委員) 博物館の入館者数が出ているが、季節ごとのものもあるとよい。増減の理由がわかると思う。

(事務局) 26年度は12月が少ないが、4月、10月、2月が多くなっている。表については、今後、検討する。

(委員) 説明に記載してある「メタ内」ということは、なんのことか。

(事務局) 市全体のデータを「メタフレーム」というシステムの中で、やり取りができるという説明を、簡単に「メタ内」としてしまっている。

(委員) 審議会の資料なので、誰にでもわかるような記述をしてほしい。

(委員) 「地域調査マニュアル[中学生版]」とあるが、どんなものか。

(事務局) 中学校の先生方から、「授業で来ることが難しいので、自由研究の中で博物館や文化財住宅を活用しながら調べることができないか」という意見があり、先生方にマニュアルを作っていただいた。

(教育長) 地域研究するための手引きになるものを、中学校の先生方に作っていただいた。どこの学校でも、それを使うと地域研究できるような手引きである。

(委員) そのものを委員が目にはできるのか。

(事務局) お渡しすることは可能である。

(委員) ぜひお願いしたい。

(委員) 「土器・石器体験」とあるが、土器、石器の出きていない浦安の博物館に相応しいものか。浦安らしいものを行ったほうがいいかと思うが。

(事務局) 6年生が歴史の授業を始める上での、動機づけを狙って行っているもので、授業の最初に浦安の年表のほかに、今年から浦安の地形模型をつくり、それも教材として使用した。特別、土器、石器の特質などを紹介するような授業ではない。

(委員) 了解した。より大きなスケールで歴史をみることで、浦安の歴史がよりわかるものになるだろう。

(4) 平成 28 年度 郷土博物館の年間計画について

配布資料をもとに、事務局より説明した。

主な質疑・応答については、下記のとおり。

(委 員) 企画展「浦安鉄鋼団地」だが、昨年、活性化の議論のときに可能性があるという話になり、今年度、具体的に計画として載った。どんな内容になるのか、気になるが、企画展示室に必ず誰かがいるという状況を作っていたいただきたい。鉄鋼団地関係の方でもいい。

むしろ学芸員が常に張り付くよりも、関係者がいたほうがいい。展示は、人がいて、説明してはじめて生きてくるものである。経済状況についての調査もあるということであったが、それをベースに、どのように展示をしていくかの工夫がほしい。ただ数字を並べただけでは展示にならない。たとえば棒グラフがあったにしても、それを活かす視覚的な、補助的なものがほしい。イメージ作りがとても大事なので、それをぜひお願いしたい。企画展をやっている、来館者が 2 階に行かずに帰ってしまうことも往々にある。実物で示すなどの工夫がほしい。鉄鋼団地の方と相談して、1 階で目に付くものを展示するなど、いろいろ検討してほしい。

(事務局) これまで 4 回ほど鉄鋼団地の方と会議を行っており、また明日、打合せをする予定である。鉄鋼団地も本腰を入れてくれることになり、最初は理事だけだったが、明日は各担当部署を作って、代表を出していただくということになった。実物を運んだりするのは、鉄鋼団地側でやっていただくことになっている。入口付近に置くものも相談してみようと思う。目にひくような、鉄鋼団地を象徴するようなものをお願いしたいと思う。また本日欠席の、明海大学の吉田委員に協力いただいて、浦安の当時の経済状況とか、浦安に鉄鋼団地が来る頃の鉄の問題等、社会背景を調査いただいて、そちらと浦安とのからみなども展示できたら、と思っている。

(委 員) 図録をつくる予定はあるか。

(事務局) 展示図録は予定している。

(委 員) ぜひしっかりしたものをつくっていただきたい。

(委 員) 現在、投網や海苔干しを前庭で行っているが、公園が整備されるとどのようになるか。確保はできるのか。

(事務局) 現在、調整をしているところである。

その他

■「浦安市郷土博物館調査報告 第九集 江戸時代の浦安1 『下総行徳領獵師種蠣記録』」について

- (事務局) 500部製作し、300部は近隣の博物館、図書館等に無償配布している。一般販売は200部で、新聞等でも紹介されたため、売れ行きもよい。地味な資料集だが、意外と市外の方が現金書留で購入するケースも多い。
- (委員) 市民の協力を得て、企画展にならないか。
- (事務局) この史料は、ほんとうに一部であって、これまで浦安しかみてこなかったが、東京湾の江戸時代の漁業や流通問題を外からみると、まだ史料がたくさん残っている。それらをあわせて江戸時代の、江戸の町全体の中での浦安像というものを展示したいと思っている。
本報告書の内容を検討して、紙芝居とか、そのほかビジュアル的なものなどを作ることは十分可能であるが、それは学芸員が行う業務でなく、作業の得意な市民や教員などが担っていただければと思う。学芸員としては、次の史料の解説などに進み、役割分担ができればと思っている。
- (委員) その通りで、学芸員の負担になるものでなく、市民が主役になって、できることをしていくべきであろう。

■ 任期満了に伴うお礼

平野委員長、杉山委員、丸山(純)委員、丸山(光)委員は、7月15日をもって任期満了で解任となる。

事務局から、これまでのご尽力に対してお礼を申し上げたのち、平野委員長、丸山光子委員、丸山純委員から挨拶いただいた。

■ 次回の会議

第2回浦安市文化財審議会は、7月20日(水)を予定。
委嘱状の交付があるので、出席をお願いしたい。

以上をもって、平成28年度第1回浦安市文化財審議会は、閉会した。